



2022年10月27日
弘南バス株式会社
東日本旅客鉄道株式会社

弘南バスにおける「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について

- 弘南バス株式会社（青森県弘前市 代表取締役社長：工藤 智久）と東日本旅客鉄道株式会社（東京都渋谷区 代表取締役社長：深澤 祐二）は「地域連携 IC カード」を利用した IC 乗車サービスの提供について合意しました。
- 弘南バスの一般路線バス全線への導入により、津軽地域のバス交通ネットワークの利便性向上が期待できます。

1. サービス提供時期・エリアについて

- ・2023年春のサービス開始を予定しています。具体的な日程につきましては、決定次第お知らせいたします。
- ・ICカード名称は「MegoICa（メゴイカ）」です。「MegoICa（メゴイカ）」はかわいいを意味する「めごい」とICカードのICを組み合わせたもので、皆様より愛される地域連携ICカードを目指してまいります。
- ・弘南バスが運行する一般路線バス全線を予定しています。

2. 地域連携 IC カードについて

地域連携 IC カードは、バスの定期券や各種割引などの地域独自のサービスの機能に加え、Suica エリア及び Suica と相互利用を行っているエリアで利用可能な乗車券や電子マネーなどの Suica のサービスが、1枚でご利用いただける 2in1 カードです。

（導入による効果）

- ・ICカードでは、あらかじめ入金（チャージ）し、車内機器にタッチすることでバス運賃の自動精算ができるようになります。
- ・観光など県外からのお客様の利便性も向上します。
- ・乗車運賃の精算方法がキャッシュレスになることにより、新型コロナウイルス感染症予防対策としても有効です。